芥見東　南の　みどりっこバス　通信

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会 広報誌第15号平成24年8月1日発行
発行元：広報部（芥見東公民館内）　　電話 FAX　241－1062

梅雨も明け、いよいよ夏本番を迎え皆様にはお変わりないことと存じます。
さて今夏も藍川東中学校の生徒さん13名の方が「みどりっこバス」ヘルパーさんとして7月21日より夏休みの期間、協力参加していただいています。
生徒さんのスケジュールの都合と、始めての参加で不安も有り複数人の乗車になりますが皆さんの温かい心で見てあげて下さい。またヘルパーさんに甘えて、遠慮なく手を借りて下さい。これを機にこれからの若い力を、地域の街づくりに積極的に参画していただければ嬉しいです。また藍川東中学校の先生方には、お力添え本当に有難うございます。　　ヘルパーの会・事務局より

当地区で運営されているコミバス『みどりっこバス』・『まちづくり』が県内、他地区は勿論、他県の自治体からも注目を浴び、またメディアからも評価をうけ、新聞・テレビ局の取材もあり紹介されました。
これもひとえに、ご利用される住民の皆さん、ヘルパー、地元の病院・企業・お店等のご協力の賜物と感謝申し上げますと共に、ボランティアの「ヘルパー」さんには大変ありがとうございます。
そこで他県からの視察・メディアの取材等、感想をいただきましたので幾つかご紹介させて頂きます。

桑名市自治会連合会視察研修を終えて

平成24年7月5日視察
桑名市自治会連合会事務局　和田　克正 様

猛暑の候、貴連合会におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。（中略）
まず私どもが、貴連合会を視察先として選んだ理由は、「住民自治に力を注がれ、地域で出来る事は地域で」を合言葉に活発に活動しているからです。地区連合会が中心になって「コミバスを運行している」とお聞きした時は正直驚きました。「連合会だけでそんな事ができるのか」「運行収支は」「利用状況・乗降者数」「役員の選出方法」などこれだけの事業を成功させる手法など様々な疑問が頭を駆け巡りました。
実際お話をお聞きして先ず感心した事は「役員皆様のやる気とその実行力（エネルギー）」であります。そのパワーの源はどこから湧き出て来るのだろうか。それには、スタッフの皆さんが一つの課題に共感し目的達成に向け、同じ方向に向かっているからだと思われます。
また、本市においても毎年難行する役員選出においても、「順番」ではなく経験者からの「一本釣り」で選出しているとの説明をいただきました。意欲の有る人が選ばれてくる事で、事業に対する取り組み姿勢がおのずと違ってくる筈です。この方法は役員選出に悩んでいる当市の各地区連合会に大いに参考になったと思われます。
本市は、29地区連合会で毎年様々な事業を行っていますが、リーダーの経験不足から事業運営に大変苦労しているのが実情であります。
今回研修で得た貴連合会の人・物・金の運用ノウハウを参考に事業運営に活かせればと考えております。
今後益々暑くなって参りますので、皆様ご健康にご留意され更なるご活躍を祈念いたしましてお礼と感想にさせていただきます。ありがとうございました。

「みどりっこバス」を取材して

平成24年4月24日取材
読売新聞宇都宮支局　記者 岡本 朋樹 様

栃木県宇都宮市の交通問題を考える連載記事を書く為、コミバスの先進事例である岐阜市に取材に伺わせて頂き、「みどりっこバス」に乗車させて頂きました。
皆様にお話を聞かせて頂く中で、芥見東・南地区の方々が、地域の高齢者のため、更には全ての住民のために、主体的にアイデアを出し合い「みどりっこバス」を運営している事が分かりました。
特に、地域の方々がボランティアで行っている「ヘルパー」制度には「ここまでやるのか！」と関心させられました。まさに皆さんが、「どうすればもっと快適なバスになるのだろう」と考え抜いている事が端的に表れていると思いました。
掲載となった記事では「みどりっこバス」の部分は短くなってしまいましたが、栃木県民にとっても今後の地域交通、公共交通を考える上で非常に参考になる事例を紹介出来たと思っています。
最後になりましたが、多田会長始め、皆様には取材にご協力頂き有難うございました。

八月十一日（土）の『芥見東 夏祭り・盆踊り大会』の前に、清流国体・清流大会『炬火リレー』を実施し芥見東・南地区を子供達がリレーでつなぎます。

「夏祭り・盆踊り大会」８月１１日（土）は「みどりっこバス」を利用してお出掛け下さい

『みどりっこバス』ボランティアヘルパーに登録募集しています。　事務局　担当　遠藤　進　電話 058-242-1251　携帯 080-5123-8696

『みどりっこバス』『あいあいバス』を乗り継いでミニ散策をしませんか！　今年も夏休みを藍川東中学校の生徒さんがみどりっこバスヘルパーさんに！

芥見東・南地区「みどりっこバス」視察について

平成 24 年 3 月 19 日視察

知多市生活環境部 防災安全課 杉江 大典 様　竹内 佑介 様

春暖の候益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

先日は、私どもが「みどりっこバス」を視察させて頂きました際にはご多忙中にもかかわらず、長時間にわたり車内でのご案内、懇談の時間をいただき、また、貴重な資料を頂きまして誠にありがとうございました。

今回、「みどりっこバス」の北回り・南回りを一通り乗車させていただきましたが、非常に多くのバス停があることに驚きました。バス停の位置が確保出来ない場所では民家のフェンスから垂れ下げているなど、住民のニーズに応えたバス停配置の実現を優先されているのだと感じました。
路線の構成も、住居地からスーパー・公共施設・病院などを回っており、生活するうえで、必要な場所へ短時間で行けるので大変便利であると感じました。

ヘルパーさんによる乗降の補助により、高齢の方や障がいのある方も安心してバスを利用できるとともに、安全な運行の助けにもなっていると思いました。また車内販売の回数券の販売補助などのサービスも利用者さんには好評のことと思います。

頂いた資料の中にありました、カード型の時刻表は自分の利用するバス停時刻を書き込める「マイバス停」の欄があり、利用者の立場にたった良いアイデアと感じ、利用促進啓発用として、早速私どもの「コミュニティバス」でも、作成を検討しております。ものまねになってしまいますが、どうかご許可願います。

今回拝見させていただいた「みどりっこバス」の、色々な取り組みの中に、利用者に喜ばれるバスのヒントがあるのだと思います。懇談の時間に「ヘルパー会」会長様から「みどりっこバス」運行を始めて、団地にお住まいの高齢の方が一人で出かけられるようになり、元気に街へ出かける方が多くなったとお聞きしました。私どものコミュニティバスにおいても、住民の方が気軽に出掛けられるバスを目指して行きたいと思いますので、今後とも、宜しくご指導下さいます様お願い致します。

今後も、より「みどりっこバス」が皆様に愛されるバスであることを応援しております。

バスは地球の宝物

平成 24 年 5 月 8 日取材 朝日新聞岐阜総局記者 伊藤 秀樹 様

バロー芥見店を午前 10 時過ぎに出発するバスに乗らせていただきました。失礼ながら乗客の予想外の多さに驚きました。次から次へと、住民の方々が乗り込んできます。
ガラガラの車内を少なからず予想していたので、意外でした。

バスは細い路地にもどんどん入って行きます。運転手さんのハンドルさばきはさすがプロというものでした。車窓から外を眺めると、地域の暮らしぶりが、ぼんやりとうかがえました。

昨年 12 月に他県から転勤してきた私にとって地域を勉強させて頂く良い機会になりました。

取材では多田会長様はじめ皆様にお世話になりました。

今後も「みどりっこバス」の益々の発展を期待しています。

藍川東中学校ヘルパーさん

１年	神谷　武蔵　君	３年	玉田　一将　君
１年	竹中　珠音　さん	３年	野原　祐哉　君
１年	増井　梨穂菜さん	３年	玉田　将大　君
２年	渡邊　結衣　さん	３年	鳥澤　亮太　君
２年	鈴木　つむぎ　さん	３年	佐伯　彩　さん
２年	植村　茉那　さん	３年	山内　詩歩花　さん
２年	西　明香理　さん		